



# し きんざん すいせい 紫金山・アトラス彗星を見よう!



1986年に見られたハレー彗星 撮影:田中千秋

昨年発見され、今年秋には肉眼で見えるほど明るくなると予想されていた紫金山・アトラス彗星ですが、今年に入ってから各地の天文台での観測の結果から、予想ほどは明るくならないかもしれないという見解が出はじめマニアを落胆させていました。

ところが、9月の観測からは10月中旬頃には、肉眼で見られる大彗星に化けるかもしれないという予報も出てきました。

そこで、都会でも見られそうな時期と彗星の位置を調べてみたのが下の図です。

紫金山・アトラス彗星は、太陽に最も近づく近日点通過が、9月27日で、この直後に最も明るくなると予想されます。地球に最も近づくのは、10月12日で、この後は、地球から遠ざかるとともにだんだんと暗くなります。そのため、彗星を見るチャンスは10月12日から20日頃まででしょう。

日没から1時間くらいたって薄明が終わるころ、双眼鏡などを利用して、西の空をさがしてみましょう。

都会の空で見える明るさになるかどうかは、天文学者でも正確には予想できません。

そのため、自分の目で確かめることが、とても重要です。

## 紫金山・アトラス彗星の位置 (10月夕刻西空)日没後45分の位置



2024年9月25日

(解説員:田中千秋)